

新入荷商品のご紹介



竺仙 奥州小紋 ゆかた
夏の太陽のように咲くひまわりをモチーフにした上質な素材の竺仙の奥州小紋浴衣です。

85800円



竹巧彩 竹かごバッグ
121000円

本物志向の方には手に取ってもらえば言葉はいりません。浴衣に、夏の着物に、そして普段の洋装に。



衿秀 夏 帯締め
落ち着いた色が多い夏の着物に夏の鮮やかさを表現するグリーン系の帯締めで夏を演出。
15400円 (右)
11000円 (左)



印伝 そよか 財布
10780円

デザインは七宝の和柄の定番でありながらスタイリッシュで都会的な見た目が魅力の印伝『そよか』シリーズの財布です。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2023年7月号

ごあいさつ



気が付いたら夏ど真ん中です。子どものころは毎年南知多の海に海水浴に連れて行ってもらうことが楽しみでしたが、今だに夏が来ると、その時のウキウキした気持ちだけが、よみがえってきます。今は海水浴に行こうとは思いませんが、海をながめながら好きな曲を聴いて夏という季節を楽しんでいます。

8月の連休 8月1日(火) 2日(水)
15日(火) 16日(水) 17日(木)

特集 小千谷縮の魅力



夏は暑いので着物は着たくないという方は多いかもしれませんが、夏の着物姿は涼やかで優雅でいいものです。そんな中、夏の着物でもっとも有名な織物のひとつに小千谷縮があります。小千谷縮は新潟県の小千谷市を中心に織られてきた麻の織物です。麻は織る工程で糸が切れやすいため、雪深い

地域の湿度のある冬場に織られてきました。表面にシボがあることによって肌との接地面が少なくなり、風が通りやすいので涼しくサラリとした肌触りが特徴です。小千谷縮は糸作り、染付などすべての工程を手作業で行い、雪ざらしをおこなう文化財の小千谷縮と糸作り、織りなど機械工程を取り入れて比較的手に入れやすい価格で製造されている小千谷縮があります。多少の風合いの違いはあるもののどちらも小千谷縮の最大の特徴である着心地のいい風合いも体感できます。また夏の着物ならではの悩みである、汗をかいても、お家で洗うことができるので、コストパフォーマンスも最高です。是非体感してみてください。

SNSで情報発信中!

かわちやの新着商品や産地のものづくりの話、竹次郎カフェの開催日などSNSでも発信しています。

フェイスブック



kawachiya888

インスタグラム



kachuan888



呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

https://www.gofuku-kawachiya.co.jp

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539